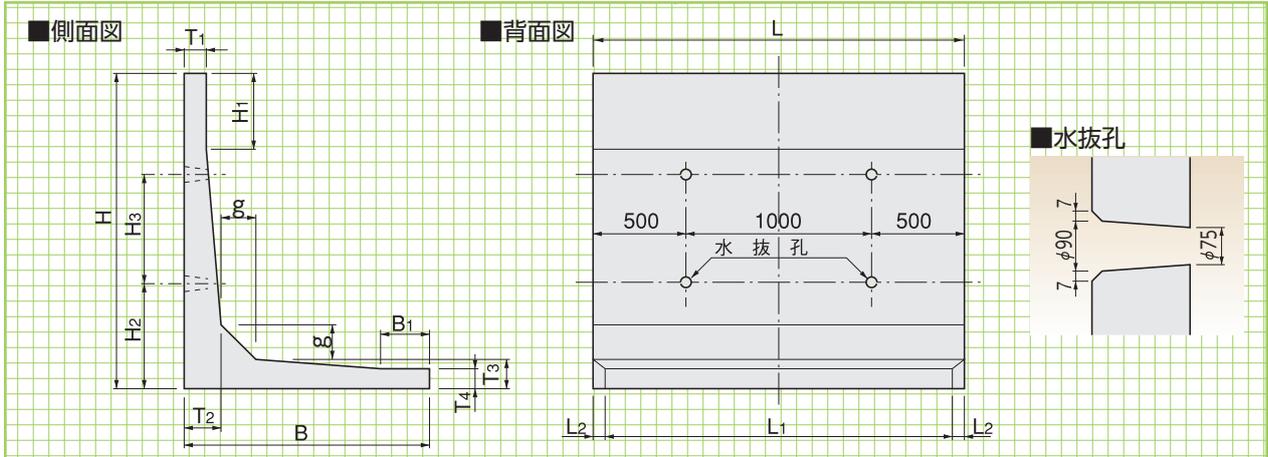


ML擁壁 (県統一型)



基本形状図

形状・寸法
重量表



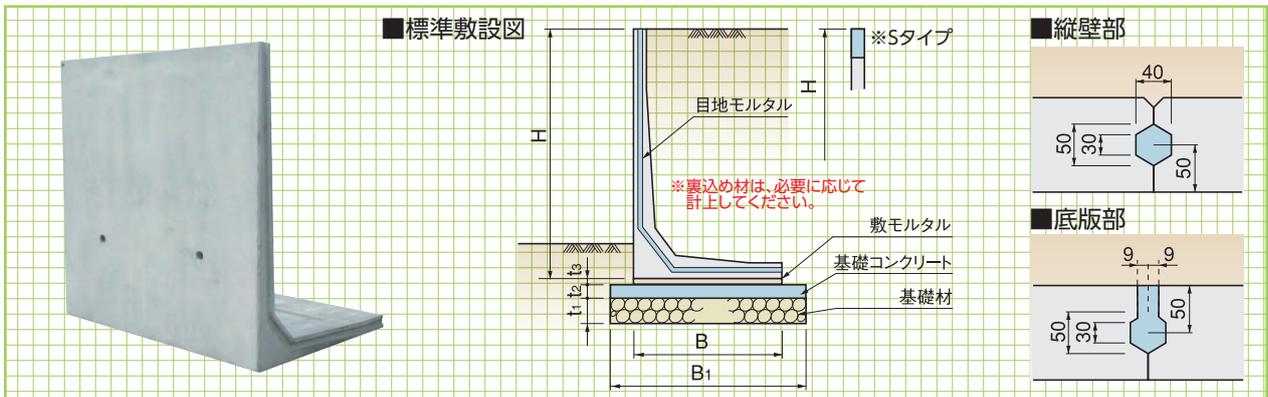
寸法・重量表

() 重量は1mものの重量です。

呼称	寸法(mm)														参考重量(kg)
	H	B	T ₁	T ₂	T ₃	T ₄	g	H ₁	B ₁	H ₂	H ₃	L ₂	L ₁	L	
600	600	650	100	100	100	100	100	-	-	400	-	14	1972	2000	580(290)
800	800	750	100	100	100	100	100	-	-	400	-	17	1966	2000	720(360)
1000	1000	850	100	100	100	100	100	-	-	550(400)	-	20	1960	2000	860(430)
1200	1200	1000	100	110	110	100	120	300	300	550(400)	-	23	1954	2000	1080(540)
1400	1400	1100	100	120	120	100	120	300	300	550(470)	-	26	1948	2000	1280(640)
1600	1600	1250	100	130	130	100	150	300	300	550(530)	-	29	1942	2000	1540(770)
1800	1800	1350	100	140	140	100	150	300	300	600	-	32	1936	2000	1770(885)
2000	2000	1450	100	150	150	100	200	300	300	670	-	34	1932	2000	2070(1035)
2500	2500	1750	100	180	180	100	200	500	300	830	-	41	1918	2000	2790(1395)
3000	3000	2050	100	220	220	100	200	500	300	1000	-	48	1904	2000	3750(1875)
※3500	3500	2340	100	240	240	100	230	700	500	1000	1000	55	1890	2000	4530(2265)
許容差	±5	±5	±5	±5	±5	±5	-	-	-	-	-	-	±5	±5	-

※呼称3500は県統一規格外です。

※最小半径約38mm(最大曲げ角度3°)まで対応できます。1mのものはL=995mm。



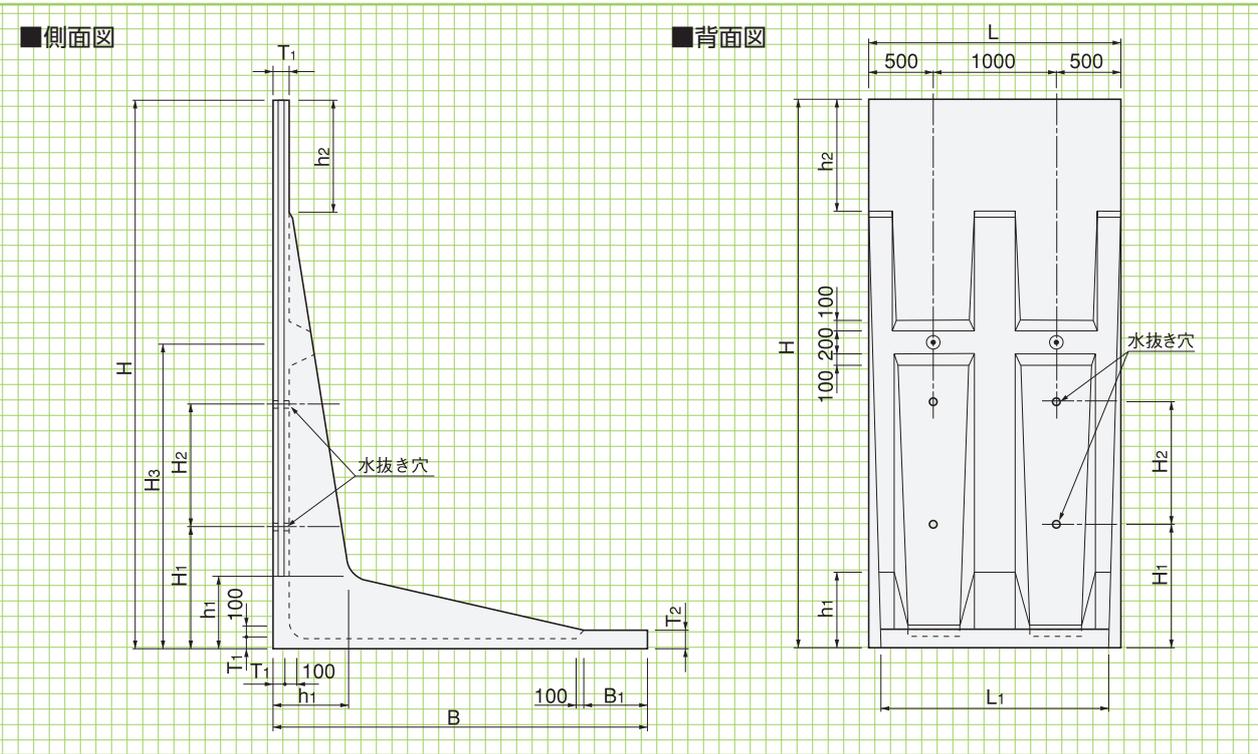
標準敷設材料表(Sタイプ兼用)

(10m当り)

呼称(H)	擁壁本数(本)	寸法(mm)					基礎工				
		B ₁	B	t ₁	t ₂	t ₃	基礎材(m ²)	基礎コンクリート(m ³)	基礎型枠(m ²)	敷モルタル(m ³)	目地モルタル(m ³)
600	5	750	650	150	100	20	7.50	0.75	2.00	0.130	0.01
800	5	850	750	150	100	20	8.50	0.85	2.00	0.150	0.02
1000(1000S)	5	950	850	150	100	20	9.50	0.95	2.00	0.170	0.02
1200(1200S)	5	1100	1000	150	100	20	11.00	1.10	2.00	0.200	0.02
1400(1400S)	5	1200	1100	150	100	20	12.00	1.20	2.00	0.220	0.02
1600(1600S)	5	1450	1250	150	100	20	14.50	1.45	2.00	0.250	0.03
1800(1800S)	5	1550	1350	150	100	20	15.50	1.55	2.00	0.270	0.03
2000(2000S)	5	1650	1450	150	100	20	16.50	1.65	2.00	0.290	0.03
2500(2250S)(2500S)	5	1950	1750	150	100	20	19.50	1.95	2.00	0.350	0.04
3000(2750S)(3000S)	5	2250	2050	150	100	20	22.50	2.25	2.00	0.410	0.05
※3500(3250S)(3500S)	5	2540	2340	200	150	20	25.40	3.81	3.00	0.468	0.06

※呼称3500(3250S)(3500S)は県統一規格外です。

インフラウォール(ML対応型)〈道路用L型擁壁〉



基本形状図
H=4000~
5000

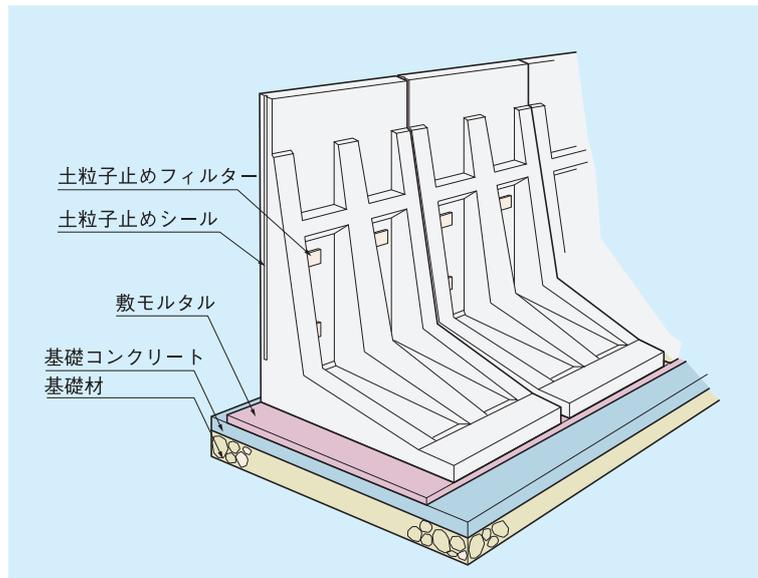
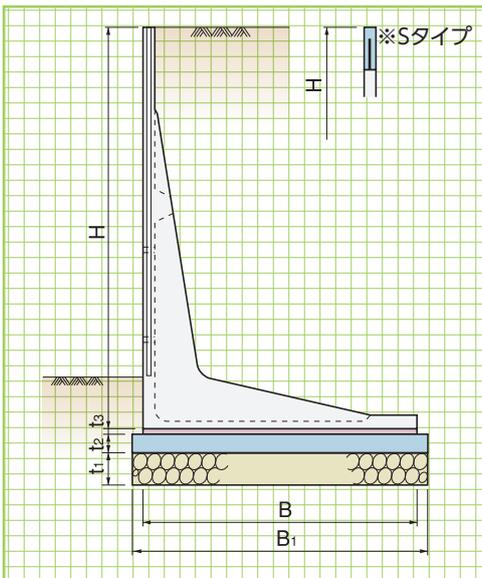
形状・寸法
重量表

■寸法・重量表

()重量は1mものの重量です。

呼称	寸法(mm)												参考重量 (kg)
	H	B	L	T ₁	T ₂	h ₁	h ₂	B ₁	L ₁	H ₁	H ₂	H ₃	
4000	4000	2650	2000	100	150	520	850	500	1840	1000	1000	1600	5600(2800)
4500	4500	2950	2000	100	150	680	850	500	1840	1000	1000	2500	6770(3385)
5000	5000	3250	2000	100	150	770	850	500	1840	1000	1000	3000	8280(4140)
許容差	+10-5	+10-5	+10-5	+5-2	+5-2	-	-	-	-	-	-	-	-

※1mものはL=995mm



標準敷設図

形状・寸法
敷設材料表

■コンクリート基礎工による標準敷設材料表(Sタイプ兼用)

(10m当り)

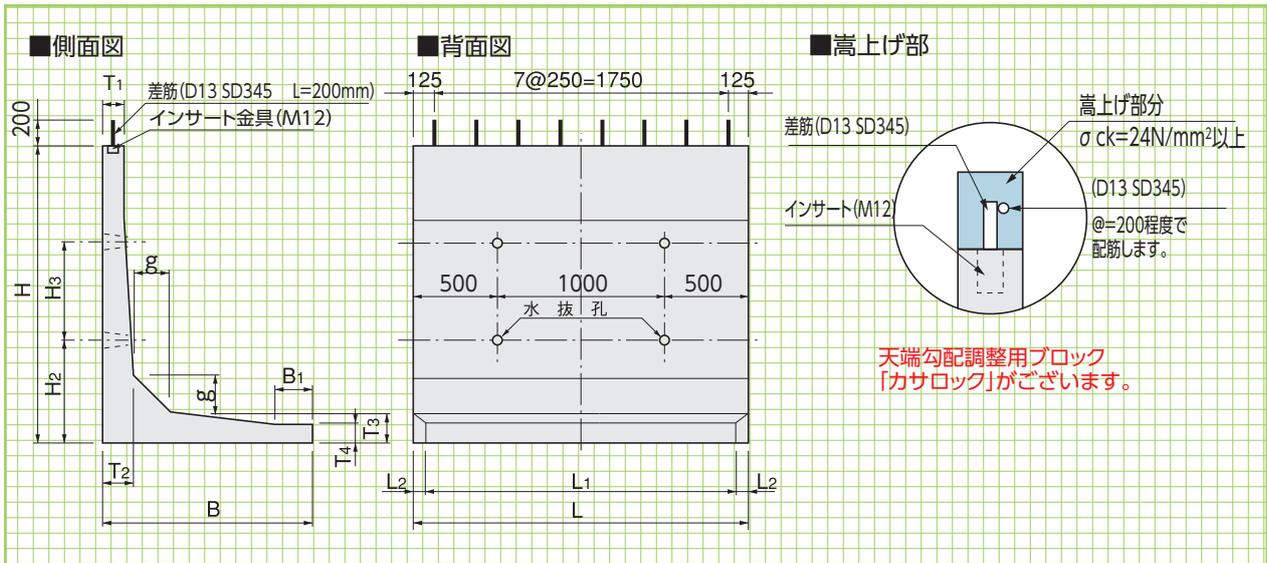
呼称 H	擁壁 本数 (本)	寸法(mm)					基礎工			
		B ₁	B	t ₁ (mm)	t ₂ (mm)	t ₃ (mm)	基礎材 (m ²)	基礎コンクリート (m ³)	基礎型枠 (m ²)	敷モルタル (m ³)
4000(3750S)(4000S)	5	2850	2650	200	150	20	28.50	4.28	3.00	0.530
4500(4250S)(4500S)	5	3150	2950	200	150	20	31.50	4.73	3.00	0.590
5000(4750S)(5000S)	5	3450	3250	200	150	20	34.50	5.18	3.00	0.650

ML擁壁Sタイプ〈県統一型〉



基本形状図

形状・寸法
重量表



■寸法・重量表

()重量は1mものの重量です。

呼称	寸法(mm)													参考重量(kg)
	H	B	T ₁	T ₂	T ₃	T ₄	g	B ₁	H ₂	H ₃	L ₂	L ₁	L	
1000S	800	850	100	100	100	100	100	—	550(400)	—	20	1960	2000	760(380)
1200S	1000	1000	100	110	110	100	120	300	550(400)	—	23	1954	2000	980(490)
1400S	1200	1100	100	120	120	100	120	300	550(470)	—	26	1948	2000	1180(590)
1600S	1400	1250	100	130	130	100	150	300	550(530)	—	29	1942	2000	1440(720)
1800S	1600	1350	100	140	140	100	150	300	600	—	32	1936	2000	1670(835)
2000S	1800	1450	100	150	150	100	200	300	670	—	34	1932	2000	1970(985)
2250S	2000	1750	100	180	180	100	200	300	830	—	41	1918	2000	2550(1275)
2500S	2250	1750	100	180	180	100	200	300	830	—	41	1918	2000	2670(1335)
2750S	2500	2050	100	220	220	100	200	300	1000	—	48	1904	2000	3510(1755)
3000S	2750	2050	100	220	220	100	200	300	1000	—	48	1904	2000	3630(1815)
※3250S	3000	2340	100	240	240	100	230	500	1000	1000	55	1890	2000	4290(2145)
※3500S	3250	2340	100	240	240	100	230	500	1000	1000	55	1890	2000	4410(2205)
許容差	±5	±5	±5	±5	±5	±5	—	—	—	—	—	±5	±5	—

※呼称3250S・3500Sは県統一規格外です。

S-TYPE

S-TYPE

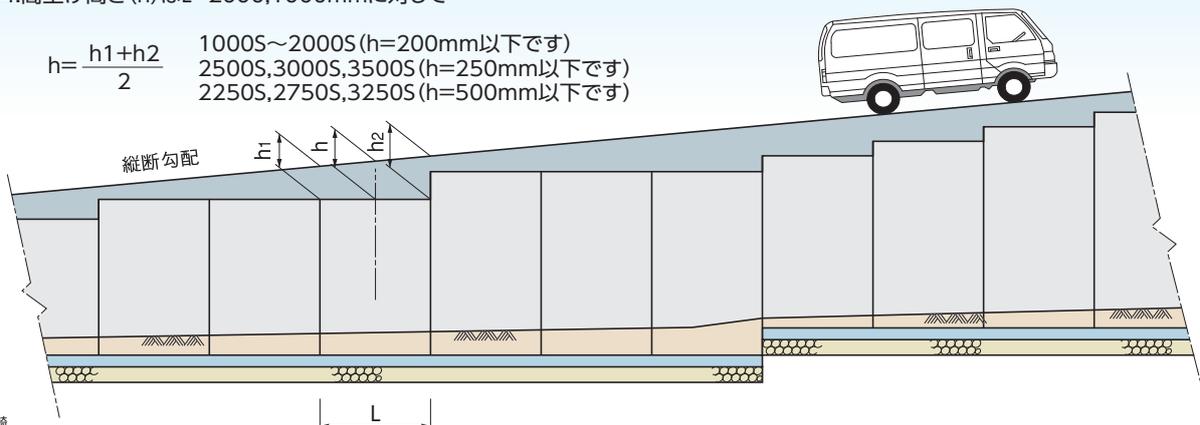
擁壁天端に縦断勾配がある場合は、S-TYPEで計画してください。

●高上げについて

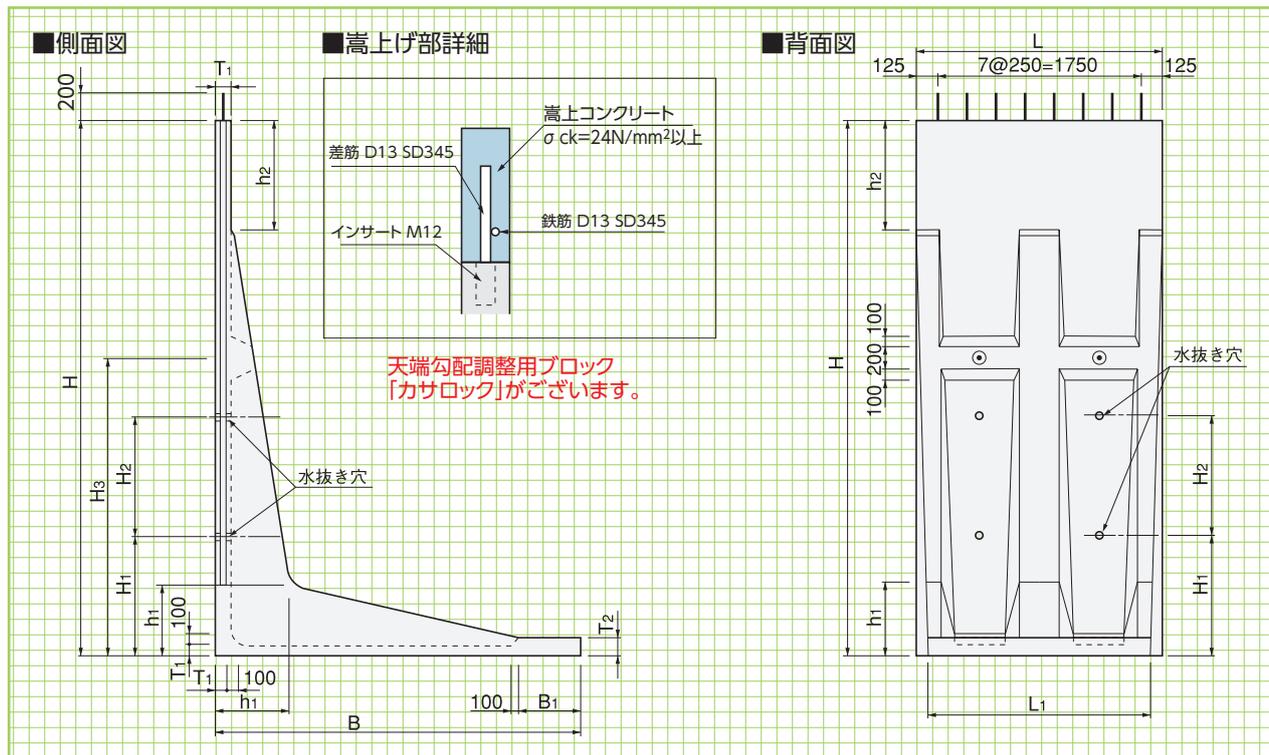
- ML擁壁(県統一型)前壁天端部を道路勾配等に合わせて高上げを行う場合、現場での所定の高さまでコンクリートの打ち継ぎを行います。その際には標準規格品より上位(H寸法の大きい)の標準規格品を使用し、その際製品の頭部(前壁天端部)を仕切った製品により対応します。また、頭部にはインサート(M12用)を埋め込んで現場にて差筋ができるように配慮しました。
- 天端部差筋は異形棒鋼(D13 SD345)のネジ切り付きを使用します。なお、差筋については高上げ用製品の出荷時にメーカーより用意します。
- 差筋の長さは製品天端からの出が200mmとし、ピッチは250mmとします。
- 高上げ高さ(h)はL=2000,1000mmに対して

$$h = \frac{h_1 + h_2}{2}$$

1000S~2000S (h=200mm以下です)
2500S,3000S,3500S (h=250mm以下です)
2250S,2750S,3250S (h=500mm以下です)



インフラウォールSタイプ〈ML対応型〉(道路用L型擁壁)



基本形状図

形状・寸法
重量表

■寸法・重量表

()重量は1mものの重量です。

呼称	寸法(mm)												参考重量(kg)
	H	B	L	T ₁	T ₂	h ₁	h ₂	B ₁	L ₁	H ₁	H ₂	H ₃	
3750S	3500	2650	2000	100	150	520	350	500	1840	1000	1000	1600	5360(2680)
4000S	3750	2650	2000	100	150	520	600	500	1840	1000	1000	1600	5480(2740)
4250S	4000	2950	2000	100	150	680	350	500	1840	1000	1000	2500	6530(3265)
4500S	4250	2950	2000	100	150	680	600	500	1840	1000	1000	2500	6650(3325)
4750S	4500	3250	2000	100	150	770	350	500	1840	1000	1000	3000	8040(4020)
5000S	4750	3250	2000	100	150	770	600	500	1840	1000	1000	3000	8160(4080)
許容差	+10-5	+10-5	+10-5	+5-2	+5-2	-	-	-	-	-	-	-	-

※1mものはL=995mm

S-TYPE

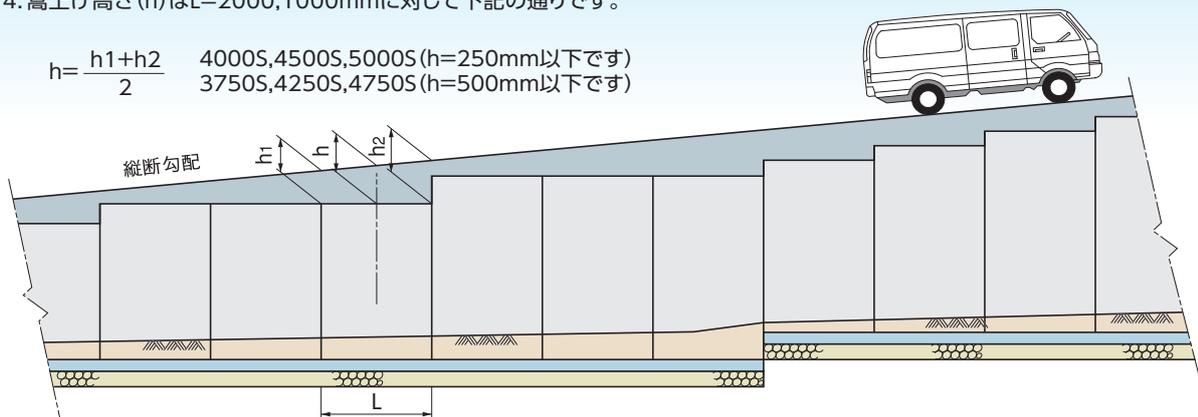
擁壁天端に縦断勾配がある場合は、S-TYPEで計画してください。

●高上げについて

- インフラウォール前壁天端部を道路勾配等に合わせて高上げを行う場合、現場での所定の高さまでコンクリートの打ち継ぎを行います。その際には標準規格品より上位(H寸法の大きい)の標準規格品を使用し、その際製品の頭部(前壁天端部)を仕切った製品により対応します。また、頭部にはインサート(M12用)を埋め込んで現場にて差筋ができるように配慮しました。
- 天端部差筋は異形棒鋼(D13 SD345)のネジ切り付きを使用します。なお、差筋については高上げ用製品の出荷時にメーカーより用意します。
- 差筋の長さは製品天端からの出が200mmとし、ピッチは250mmとします。
- 高上げ高さ(h)はL=2000,1000mmに対して下記の通りです。

$$h = \frac{h_1 + h_2}{2}$$

4000S, 4500S, 5000S (h=250mm以下です)
3750S, 4250S, 4750S (h=500mm以下です)



S-TYPE

側溝関連

道路関連

管渠類

擁壁類

河川関連

基礎類

貯水槽関連

景観関連

その他